日刊 動労千葉

80.5.9

NO. 423

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二-一八（動力車会館）

（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

デマ宣伝の破綻とネタ切れを告白する最近の『再建情報』

5・17⇒5・25の大結集で、処分攻撃うちくだけ！

「四・一五襲撃」をめぐるこの間のデマ宣伝で、遂に彼らが完全破産し、われわれの『日刊』を通じた的確な暴露・批判に対してグウの音も出なくなって、この論争から逃げ出した事を正直に表明しているのが、最近の『再建情報』（№23）および（№24）である。

「東京・新幹線の80春闘裏切り」のインペイに四苦八苦

彼らは、八〇春闘の真只中で、自らの職場にかけられた重要な闘争課題を完全に放棄したばかりか、そのとりつくろいのために「動労千葉が悪い」「動労千葉の闘いをつぶせ」と暴力的におしかけるという全く腐敗した行動にあけくれたのである。今日全国で「なんで自分の職場のスト体制につかないでスト前夜に他所まで出かけて暴力さた起すのか」と大きな批判が公然と出されており、東京・新幹線の中ですら不満と不信がつのっていることは今や周知の事実なのである。とりわけ、「東京三局乗務員運用合理化」の重大課題を八〇春闘の闘争課題として闘う事を禁止し、スローガンからさえも抹殺し、組合員に六月妥結路線を強要してきた東京地本内では、当局と完全に一体となった革マル反動分子の裏切り路線への不信が今日至る所で公然と憤出している。

四・一五津田沼襲撃の二百六十名のヘル部隊が東京地本と新幹線地本の青年部に巣喰う革マル反動分子を中心に編成されたことには、それなりの理由があったのである。

ところが、この明々白々の自らの闘争放棄路線への批判をかわすために突如として出されてきたのが『再建情報（№23）（№24）』での「動労千葉がスト破りをやった」「公労委に依存した」なる珍奇なデマ宣伝である。

「デマ宣伝の破綻＝ネタ切れ」を告白する『再建情報』

仮に、主要ポイントを押えて、最大の効果を上げるためにあみ出されてきた長期ストの際の「スト拠点移動方式」およびその際生じる部分的な運行をとらえて、これを〝スト破り〟（『再建情報（№23）』）と規定する珍説をとるとするならば、「本部」反動分子が〝拠点〟と称する幹線中の幹線たる新幹線が〝統一闘争中（四月十六日）に一〇〇％ダイヤ通り運行した〟事実は、これこそ最大の「スト破り」とでも規定するつもりなのか?!これまで長期スト体制がどのように組み立てられてきたのかを全く知らないシロウトならいざ知らず、このような珍説・暴論をこねまわしてまでデマ宣伝しなければならないとは、いよいよ『デマ情報』もネタが切れたとしかいいようがない。

さらに、『再建情報（№24）』に至っては、「講釈師、見てきたようなウソをいい」を地でいくおそまつさで、よくもヌケヌケとデマ会話まで創作できるものかとあきれるばかりである。ただ、八〇春闘を通じて、わが動労千葉が関東地調委―公労委の場に登場し堂々と中央政治を展開しはじめた事に対する、彼ら反動分子の焦りと口惜さ、「ケチッケの一つも言わなければ、いたたまれない」その心情だけは、よくにじみ出てはいる。

「千鉄局報」を賛美し、当局への弾圧要請にのみひた走る反動集団！

ともあれ、「暴力的襲撃」も「デマ宣伝」もこのように共に破綻し、ネタもつきてしまった彼らに残された唯一のものといえば、当局に哀訴し、なんとか動労千葉への弾圧を引き出さんと身も心も当局にすり寄せる道である。白を黒といいくるめてデッチ上げた内容につづけて、「これらの行為は……昨年末の千鉄局報の精神を足下（蹴?!ママ）にする言語道断のふるまい……。貴側にあっても、これをあいまいにすることなく厳正に処置さるべく強く申し入れるものである」と言い放つ「四月十六日付・正式申入れ書面」なるものこそ、当局の足下にひざまずき、身も心も売りわたした類例のない彼らの卑劣さ、反労働者性、当局の武装親衛隊の本性をこの上なくはっきりとさらけだすものとして、徹底的に断罪しなければならない。

動労千葉は、五月一日支部代確認と同日付「闘争指令第十二号」をもって、いかなる選別的不当処分をも許さない全面的な闘争への決起を発した。

われわれは不退転の決意をこめて、はっきりと宣言する。あの反動的な「千鉄局報を足蹴にし、粉砕して」進むことこそ戦闘的国鉄労働者と労働組合のとるべき真の道であり、同時にかかる国鉄当局の手先になりさがり、戦う国鉄労働者におそいかかる〝武装親衛隊〟＝「本部」反動集団を粉砕一掃することこそが国鉄労働者の真に崇高な任務であることをはっきりとさせ闘いぬくであろう。

全支部での職場集会を成功させ五・一七結成一周年集会に全力結集し、五・二五三里塚闘争の空前の大結集をもって、不当処分攻撃を粉砕しよう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！